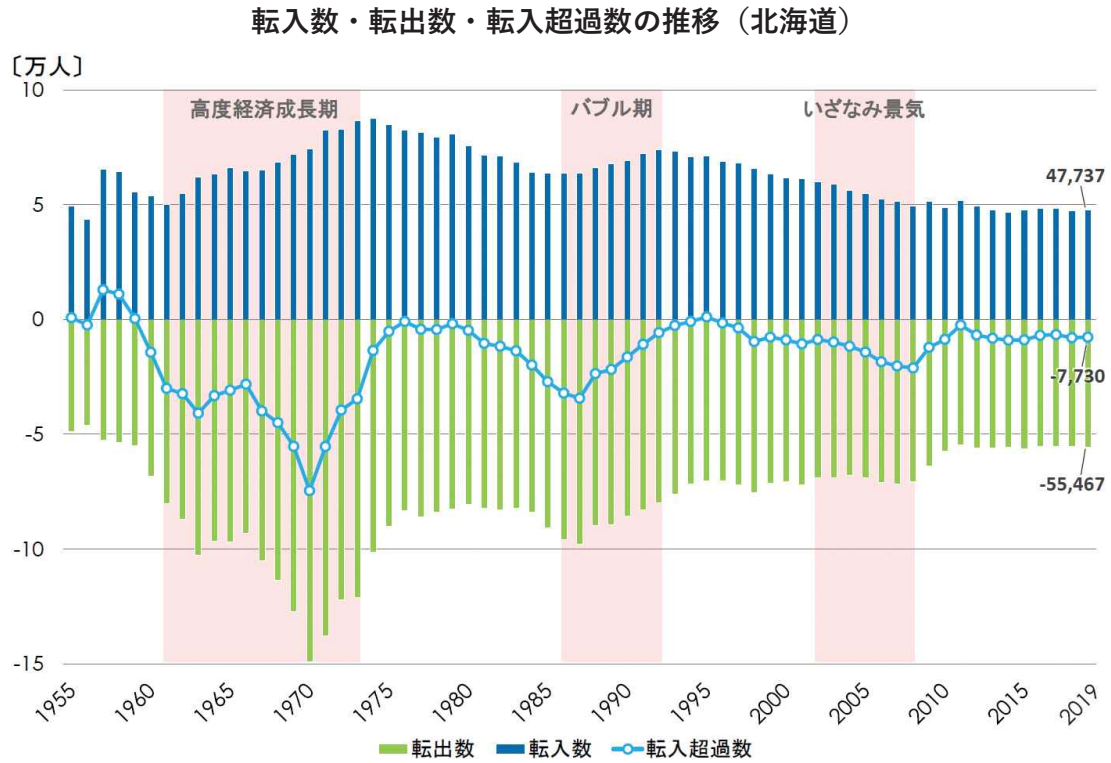


3 社会増減

(1) 転入数・転出数

本道では、半世紀にわたり転出超過が続いており、特に、好景気の時期には、道外への転出超過数が大きくなっている。

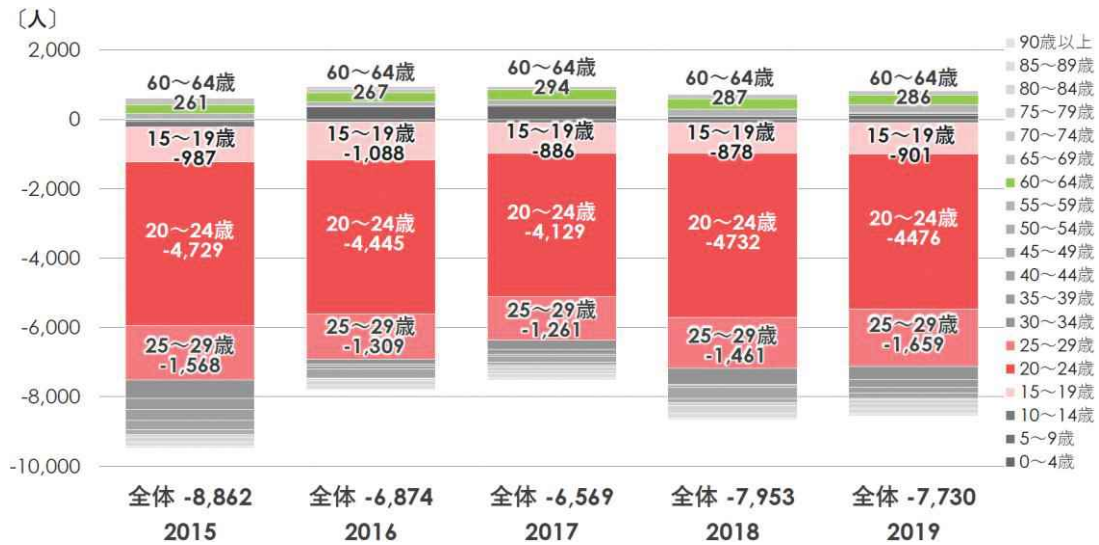


総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

(2) 年齢階級別・地域ブロック別の人口移動

年齢階級別の人口移動の状況をみると、60～64歳は転入超過であるのに対し、若年層は転出超過の傾向にある。特に、転出超過数に占める割合は15～29歳の若年層で高くなっており、就職や大学等への進学のため、道外に転出する者が多いことが主な理由であると推測される。

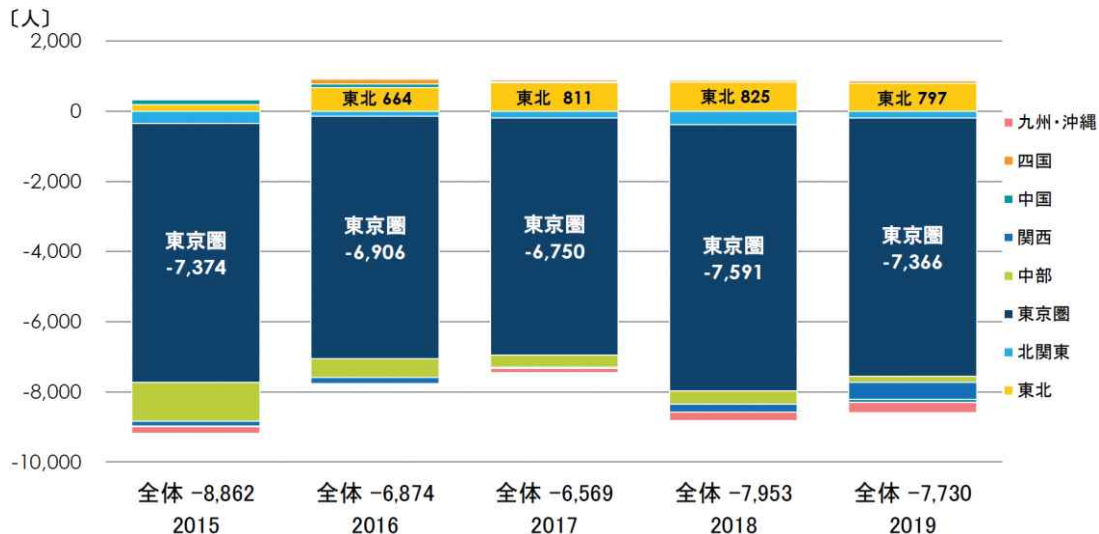
年齢階層別の人口移動（転入－転出）の状況（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

地域別では、2016（平成28）年以降は東北から転入超過となっているが、ほとんどの地域に対して転出超過となっており、なかでも東京圏^{※2}への転出が多くを占めている。

地域ブロック別の人口移動（転入－転出）の状況（北海道）



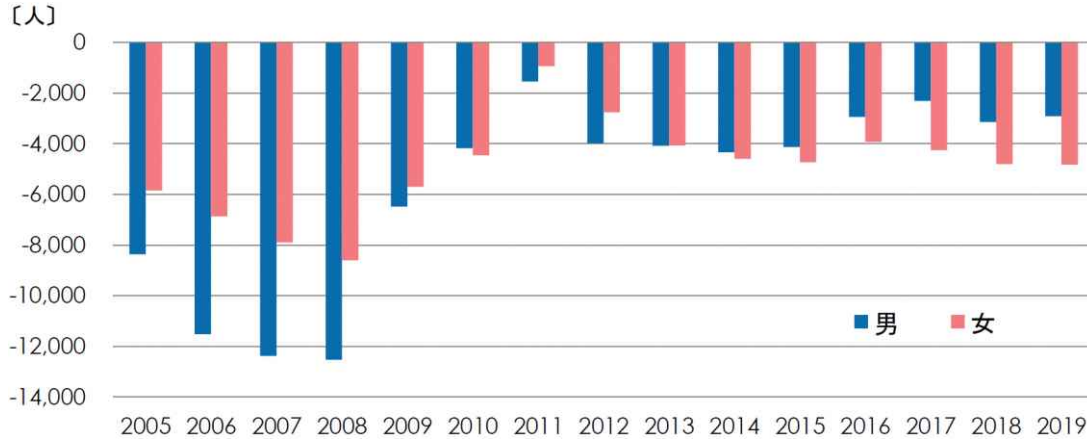
総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

※2 東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

(3) 男女別の人口移動

男女別では、2013（平成 25）年以前は男性の転出超過数が女性の転出超過数を上回る傾向にあったが、2014（平成 26）年以降は女性の転出超過数が男性の転出超過数を上回る傾向となっている。

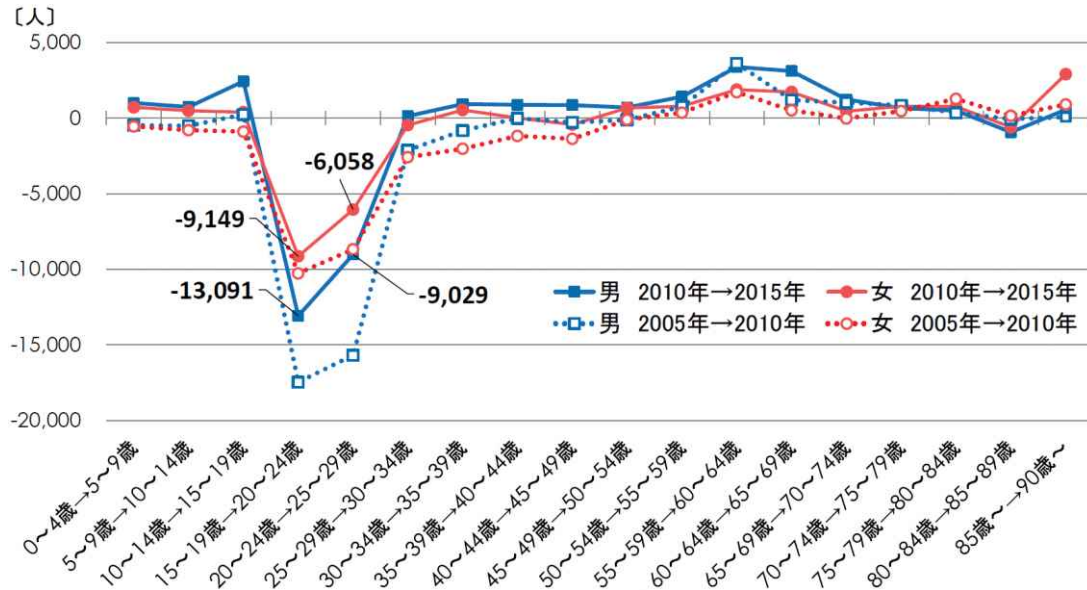
男女別人口移動（転入－転出）の推移（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

男女別年齢階級別の人口移動を見ると、2010→2015年では「15～19歳→20～24歳」、「20～24歳→25～29歳」の世代で男性の転出超過数が女性の転出超過数に比べて多く、進学・就職によるものと考えられる転出は男性が多いことがわかる。しかし、2005→2010年と比べるとその差は小さくなっている。

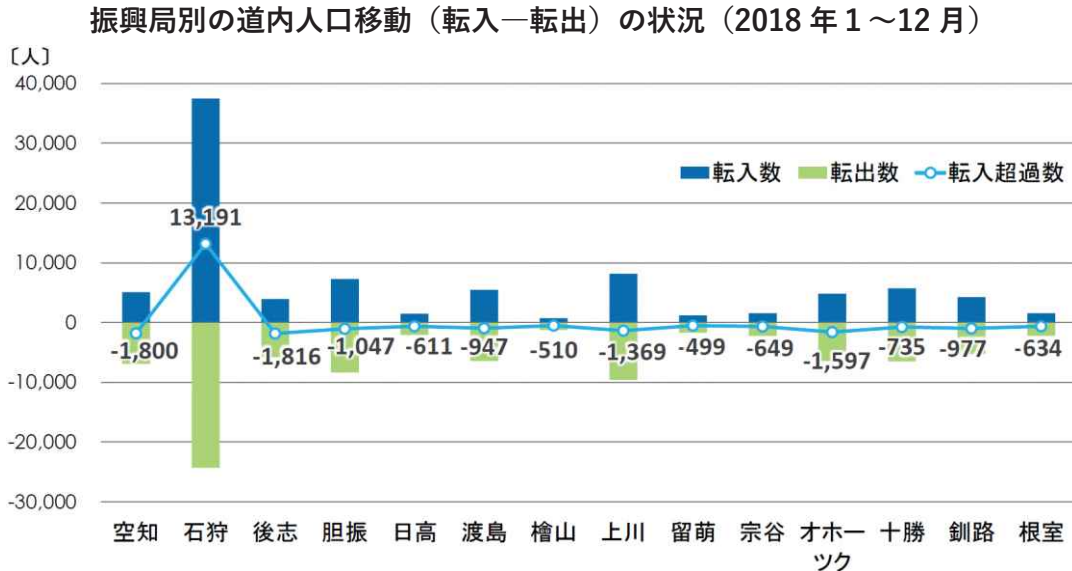
性別・年齢階級別の人口移動（転入－転出）（北海道）



総務省「国勢調査」及び厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき推定

(4) 振興局別の人口移動

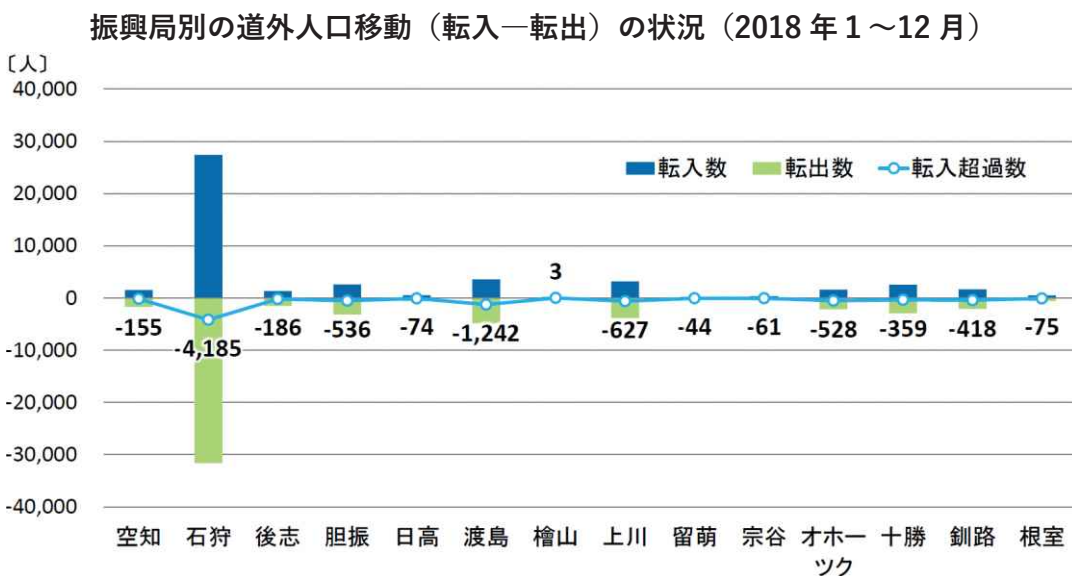
2018（平成30）年における振興局間の転出入状況は、札幌市を含む石狩振興局管内のみが転入超過で、他の全ての管内は転出超過となっており、札幌圏への人口集中が進んでいる。



北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

2018（平成30）年における道外への転出入状況を振興局別にみると、檜山を除く全ての振興局で転出超過となっているが、石狩・渡島（総合）振興局以外の転出超過数は、対道内の転出超過数より少ない。

道内の転出入は、地域から札幌圏へ人が集まる一方で、札幌圏から道外へ転出する傾向があることがうかがえる。



北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

振興局別の人口移動（転入－転出）の状況（2018年1～12月）

〔人〕

	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		転入－転出		転入－転出		転入－転出		
空知 [人口293,770]		転入－転出		-1,800 (-0.6%)		転入－転出		-155 (-0.1%)		道内 -1,800
		転入計	5,098	転出計	6,898	転入計	1,526	転出計	1,681	
	1	石 狩	2,728	石 狩	4,582	東 京 都	300	東 京 都	381	道外 -155
	2	上 川	672	上 川	809	神奈川県	164	神奈川県	208	
3	胆 振	311	胆 振	377	埼 玉 県	135	埼 玉 県	160	合計 -1,955	
石狩 [人口2,377,490]		転入－転出		13,191 (0.6%)		転入－転出		-4,185 (-0.2%)		道内 13,191
		転入計	37,474	転出計	24,283	転入計	27,414	転出計	31,599	
	1	上 川	5,638	胆 振	3,885	東 京 都	6,568	東 京 都	9,141	道外 -4,185
	2	胆 振	5,475	上 川	3,659	神奈川県	3,021	神奈川県	3,611	
3	空 知	4,582	渡 島	2,947	埼 玉 県	2,122	千 葉 県	2,576	合計 9,006	
後志 [人口209,584]		転入－転出		-1,816 (-0.9%)		転入－転出		-186 (-0.1%)		道内 -1,816
		転入計	3,955	転出計	5,771	転入計	1,337	転出計	1,523	
	1	石 狩	2,333	石 狩	4,135	東 京 都	237	東 京 都	359	道外 -186
	2	胆 振	297	胆 振	422	神奈川県	156	神奈川県	181	
3	渡 島	271	渡 島	271	埼 玉 県	81	千 葉 県	123	合計 -2,002	
胆振 [人口391,990]		転入－転出		-1,047 (-0.3%)		転入－転出		-536 (-0.1%)		道内 -1,047
		転入計	7,278	転出計	8,325	転入計	2,615	転出計	3,151	
	1	石 狩	3,885	石 狩	5,475	東 京 都	418	東 京 都	645	道外 -536
	2	渡 島	558	渡 島	544	神奈川県	250	神奈川県	394	
3	日 高	429	上 川	392	千 葉 県	203	千 葉 県	306	合計 -1,583	
日高 [人口66,894]		転入－転出		-611 (-0.9%)		転入－転出		-74 (-0.1%)		道内 -611
		転入計	1,465	転出計	2,076	転入計	519	転出計	593	
	1	石 狩	612	石 狩	1,106	神奈川県	61	東 京 都	101	道外 -74
	2	胆 振	336	胆 振	429	東 京 都	59	千 葉 県	61	
3	十 勝	94	十 勝	120	千 葉 県	48	神奈川県	47	合計 -685	
渡島 [人口395,365]		転入－転出		-947 (-0.2%)		転入－転出		-1,242 (-0.3%)		道内 -947
		転入計	5,472	転出計	6,419	転入計	3,582	転出計	4,824	
	1	石 狩	2,947	石 狩	4,160	東 京 都	661	東 京 都	1,081	道外 -1,242
	2	胆 振	544	胆 振	558	青 森 県	455	神奈川県	628	
3	檜 山	507	上 川	309	神奈川県	414	千 葉 県	438	合計 -2,189	
檜山 [人口36,168]		転入－転出		-510 (-1.4%)		転入－転出		3 (0.01%)		道内 -510
		転入計	729	転出計	1,239	転入計	197	転出計	194	
	1	渡 島	276	渡 島	507	東 京 都	41	東 京 都	38	道外 3
	2	石 狩	255	石 狩	453	埼 玉 県	29	埼 玉 県	26	
3	胆 振	41	後 志	65	神奈川県	23	神奈川県	26	合計 -507	
上川 [人口495,947]		転入－転出		-1,369 (-0.3%)		転入－転出		-627 (-0.1%)		道内 -1,369
		転入計	8,188	転出計	9,557	転入計	3,184	転出計	3,811	
	1	石 狩	3,659	石 狩	5,638	東 京 都	596	東 京 都	821	道外 -627
	2	オホーツク	903	オホーツク	769	神奈川県	339	神奈川県	392	
3	空 知	809	空 知	672	埼 玉 県	223	千 葉 県	339	合計 -1,996	

(人)

留萌	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-499 (-1.1%)		転入－転出		-44 (-0.1%)			
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
[人口 45,840]		1,194	1,693	193	237	道内	-499				
	1	石 狩	471	石 狩	736	東 京 都	24	東 京 都	43	道外	-44
	2	上 川	245	上 川	371	山 形 県	22	神 奈 川 県	30		
	3	空 知	78	空 知	147	神 奈 川 県	21	千 葉 県	15	合計	-543

宗谷	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-649 (-1.0%)		転入－転出		-61 (-0.1%)			
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
[人口 63,844]		1,567	2,216	375	436	道内	-649				
	1	石 狩	649	石 狩	1,003	東 京 都	59	東 京 都	92	道外	-61
	2	上 川	308	上 川	465	神 奈 川 県	45	埼 玉 県	39		
	3	オホーツク	145	オホーツク	140	埼 玉 県	32	神 奈 川 県	39	合計	-710

オホーツク	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,597 (-0.6%)		転入－転出		-528 (-0.2%)			
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
[人口 281,630]		4,820	6,417	1,617	2,145	道内	-1,597				
	1	石 狩	1,954	石 狩	3,177	東 京 都	308	東 京 都	451	道外	-528
	2	上 川	769	上 川	903	神 奈 川 県	176	神 奈 川 県	223		
	3	十 勝	470	十 勝	618	千 葉 県	132	千 葉 県	201	合計	-2,125

十勝	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-735 (-0.2%)		転入－転出		-359 (-0.1%)			
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
[人口 340,088]		5,739	6,474	2,550	2,909	道内	-735				
	1	石 狩	2,527	石 狩	3,585	東 京 都	468	東 京 都	710	道外	-359
	2	釧 路	691	釧 路	546	神 奈 川 県	250	神 奈 川 県	269		
	3	オホーツク	618	上 川	517	埼 玉 県	161	千 葉 県	254	合計	-1,094

釧路	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-977 (-0.4%)		転入－転出		-418 (-0.2%)			
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
[人口 230,748]		4,269	5,246	1,658	2,076	道内	-977				
	1	石 狩	1,701	石 狩	2,614	東 京 都	313	東 京 都	500	道外	-418
	2	十 勝	546	十 勝	691	神 奈 川 県	175	神 奈 川 県	239		
	3	根 室	533	オホーツク	427	千 葉 県	110	千 葉 県	191	合計	-1,395

根室	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-634 (-0.8%)		転入－転出		-75 (-0.1%)			
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
[人口 75,055]		1,561	2,195	502	577	道内	-634				
	1	石 狩	562	石 狩	810	東 京 都	91	東 京 都	142	道外	-75
	2	釧 路	385	釧 路	533	神 奈 川 県	47	神 奈 川 県	48		
	3	十 勝	172	十 勝	253	埼 玉 県	46	埼 玉 県	47	合計	-709

転入・転出数：北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」(日本人のみ)
 人口：北海道総合政策部「住民基本台帳人口・世帯数」2019年1月1日現在
 ()内は管内人口に対する割合

(5) 社会増加率が高い市町村の特徴

道内において社会増加率の高い市町村について、直近2年間分を調査すると、市町村により、その理由は様々なものが考えられるが、以下の要因があることが推測される。

社会増加率が高い市町村（道内上位10市町村）

2018年（社会増加31市町村）					2017年（社会増加37市町村）				
順位	市町村名	人口 (2019.1.1) (人)	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	順位	市町村名	人口 (2018.1.1) (人)	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)
	北海道	5,304,413	-3,715	-0.07		北海道	5,339,539	-2,890	-0.05
1	占冠村	1,508	67	4.62	1	占冠村	1,450	195	15.50
2	ニセコ町	5,298	116	2.23	2	留寿都村	2,049	90	4.56
3	真狩村	2,102	36	1.72	3	赤井川村	1,262	48	3.91
4	倶知安町	16,642	237	1.44	4	東川町	8,328	188	2.30
5	東川町	8,382	114	1.37	5	上士幌町	4,988	99	2.01
6	上士幌町	5,000	62	1.24	6	西興部村	1,117	18	1.61
7	恵庭市	69,850	563	0.81	7	秩父別町	2,436	36	1.48
8	西興部村	1,114	7	0.63	8	ニセコ町	5,203	68	1.32
9	猿払村	2,745	16	0.59	9	仁木町	3,386	41	1.21
10	長万部町	5,493	32	0.58	10	下川町	3,339	28	0.83

総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」

【社会増加率が高い理由】（上記市町村からの聴き取りによる）

- ・ 宅地造成・分譲による周辺地域からの転入
- ・ 移住促進・子育て支援による子育て世帯等の転入
- ・ 観光業・宿泊業の雇用増加による従業者の転入
- ・ 外国人技能実習生等の転入（外国人の人口動向についてはP19参照）
- ・ その他（企業誘致による従業者の転入、学校誘致による生徒及び関係者の転入、農業振興施策による新規就農者の転入など）